

- による手術支援. 第 110 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2010.4.8. (ビデオワークショップ)
9. 野口典男, 田中真二, 小川康介, 佐藤公太, 岡島千怜, 入江 工, 工藤 篤, 中村典明, 有井滋樹. 門脈侵襲陽性肝細胞癌症例の予後解析・遺伝子解析から見た治療戦略の検討. 第 110 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2010.4.10. (一般口演)
 10. Muhammad Shireli, Mahmut Yasen, 茂櫛 薫, Abdurahman Maynur, Obulhasim Gulanbar, 田中真二, 有井滋樹. 肝臓において高血清 AFP 値と関連する遺伝子の発現解析. 第 110 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2010.4.10. (一般口演)
 11. Gulanbar Obulhasim, Mahmut Yasen, 梶野一徳, 阿部雅明, 増岡周二, 田中真二, 水島 洋, 有井 滋樹, 樋野 興夫. メタボリックシンドローム背景肝発癌過程における dbpA 遺伝子の発現、メチル化異常の検討. 第 99 日本病理学会, 東京, 2010.4.28.
 12. Mahmut Yasen, 水島 洋, 茂櫛 薫, Gulanbar Obulhasim, 田中真二, 有井滋樹, 田中 博. マイクロアレイ解析により肝臓再発、悪性度診断分子マーカーの構築と同定. 第 99 日本病理学会, 東京, 2010.4.28.
 13. 田中真二, 藍原有弘, 伴 大輔, 野口典男, 入江 工, 工藤 篤, 中村典明, 有井滋樹. 肝胆膵癌の分子標的治療 肝臓臨床検体のオミックス解析を基盤とする分子標的の同定と前臨床試験への展開. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 仙台, 2010.5.27. (ミニシンポジウム)
 14. 光法雄介, 田中真二, 入江 工, 野口典男, 工藤 篤, 中村典明, 有井滋樹. 術中造影超音波による肝細胞癌の腫瘍血管の分類と悪性度診断への応用. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010.5.27. (ポスター)
 15. Mahmut Yasen, 水島 洋, 茂櫛 薫, Obulhasim Gulanbar, 田中真二, 有井滋樹, 田中 博. 遺伝子発現解析に基づいて肝臓脈管浸潤関連遺伝子の探索と同定. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010.5.27. (ポスター)
 16. 茂櫛 薫, 田中真二, Mahmut Yasen, 野口典男, 入江 工, 工藤 篤, 中村典明, 稲澤譲治, 田中 博, 有井滋樹. 肝細胞癌の早期再発を予測する非癌部遺伝子発現プロファイル. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010.5.27. (口演)
 17. Obulhasim Gulanbar, Mahmut Yasen, 梶野一徳, 阿部雅明, 田中真二, 水島 洋, 田中 博, 有井滋樹, 樋野興夫. 非ウイルス背景肝臓における dbpA 遺伝子のゲノム, エピゲノム異常とその意義. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010.5.27. (ポスター)
 18. 田中真二, 村形綾乃, 有井滋樹. 外科臨床に基づく肝臓分子標的の解析と臨床展開. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010.5.28. (シンポジウム)
 19. 松村 聡, 井本逸勢, 稲澤譲治, 有井滋樹. 統合的アレイ解析による DNA 過剰メチル化を指標とした肝細胞癌の新規がん抑制遺伝子の探索. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010.5.28. (口演)
 20. 光法雄介, 田中真二, 伴 大輔, 入江 工, 野口典男, 工藤 篤, 中村典明, 有井滋樹. 肝細胞癌に対する術中造影超音波を用いた血流診断の有用性. 日本超音波医学会第 83 回学術集会, 京都, 2010.5.30. (シンポジウム)
 21. 田中真二, 藍原有弘, 伴 大輔, 野口典男, 入江 工, 工藤 篤, 中村典明, 稲澤譲治, 田中博, 有井 滋樹. 臨床検体オミックス解析に基づく転移分子ネットワークの同定と分子標的治療への展開. 第 65 回日本消化器外科学会総会, 山口, 2010. 7.15. (シンポジウム)
 22. 松村 聡, 井本逸勢, 小崎健一, 田中真二, 有井滋樹, 稲澤譲治. 肝細胞癌における CpG アイランドの過剰メチル化により発現制御される新規がん抑制遺伝子の同定. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.23.
 23. 古田繭子, 小崎健一, 田中真二, 有井滋樹, 井

本逸勢, 稲澤譲治. Functional スクリーニングを用いた肝細胞癌抑制性 microRNA の同定. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.24.

24. 田中真二, 茂櫛 薫, 藍原有弘, 松村 聡, Mahmut Yasen, 稲澤譲治, 田中 博, 有井滋樹. 肝細胞癌の肉眼形態が示す特異的遺伝子発現パターンと分子標的 EpCAM の意義. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.24.
25. 田中真二, 茂櫛 薫, Mahmut Yasen, 伴 大輔, 野口典男, 入江 工, 工藤 篤, 中村典明, 稲澤譲治, 田中 博, 有井滋樹. Adjuvant therapy の適応: 非癌部遺伝子発現プロファイルによる肝癌の早期再発予測. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都, 2010.10.29.

松井 修

[平成 20 年度]

1. Matsui O: Malignant hepatic tumors: radiologic-pathologic correlations. 12th Asian Oceanian Congress of Radiology. Oct. 25, 2008, Seoul, Korea.
2. Matsui O: Intravascular therapies: Spectrum of imaging findings. 19th European Society of Gastrointestinal and Abdominal Radiology. June 10-13, 2008, Istanbul, Turkey.

[平成 21 年度]

1. Kitao A, Zen Y, Matsui O, Gabata T, Nakanuma Y: Organic anion transporting polypeptide8 expression correlates with the signal intensity of hepatocellular carcinoma on Gd-EOB-DTPA enhanced MRI. ACAR 2009 (第 2 回アジア腹部放射線学会) June 5-6, 2009, Seoul, Korea.
2. Matsui O: Cholangiocarcinoma: diagnosis and staging. ESGAR 2009. June 23-26, 2009, Valencia, Spain. (ワークショップ)
3. 北尾 梓, 全 陽, 松井 修, ほか: 肝細胞癌の Gd-EOB-DTPA 造影 MRI 像: 肝細胞膜トランスポーターの発現に関する基礎的検討. 第 37 回日本磁気共鳴医学会大会, 2009.10.1-3, 横浜.

[平成 22 年度]

1. Matsui O: Review of vascular anatomy, collateral, variants and micro-circulation. GEST 2010 (Global Embolization Symposium and Technologies) May 6-9, 2010, San Francisco, USA
2. Matsui O: Vascular abnormalities of the liver. ESGAR 2010 (European Society of Gastrointestinal and Abdominal Radiology) June 2-5, 2010, Dresden, Germany
3. Kitao A, Matsui O, Yoneda N, et al: Gastrointestinal (Hepatobiliary contrast agents: administration and uptake physiology) RSNA 2010 (96th Scientific Assembly and Annual Meeting) Nov. 29-Dec. 3, Chicago, USA

佐田 通夫

[平成 20 年度]

1. 黒松亮子, 安東栄治, 高田晃男, 福嶋伸良, 住江修治, 長岡 栄, 黒木淳一, 佐田通夫. 腫瘍径 3-5cm 腫瘍個数 2 個以下の肝細胞癌における RFA と TAE の治療効果の比較 (Retrospective Study). 第 44 回日本肝臓学会総会, 松山, 2008 年 6 月 5 日. 肝臓 2008; 49(Suppl.1): A133.
2. 福嶋伸良, 黒松亮子, 日野照子, 秋葉 純, 安東栄治, 高田晃男, 住江修治, 井出達也, 鳥村拓司, 矢野博久, 佐田通夫. IFN 投与によって HCV 消失後に発症した HCC 症例の検討. 第 44 回日本肝臓学会総会, 松山, 2008 年 6 月 5 日. 肝臓 2008; 49(Suppl.1): A203.
3. 安東栄治, 黒松亮子, 高田晃男, 福嶋伸良, 住江修治, 黒木淳一, 長岡 栄, 井上欣哉, 新関敬, 中野聖士, 岩本英希, 鳥村拓司, 佐田通夫. 近年の肝硬変症および早期肝細胞癌治療の進歩に伴う肝細胞癌サーベイランスの有理性. 第 44 回日本肝臓学会総会, 松山, 2008 年 6 月 5 日. 肝臓 2008; 49(Suppl.1): A257.
4. 安東栄治, 黒松亮子, 田中正俊, 佐田通夫. 低用量シスプラチン/5-FU 併用動注化学療法

の長期予後. 第91回日本消化器病学会九州支部例会、第85回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 福岡, 2008年6月13日.

5. 田中正俊, 由谷 茂, 工藤まいさ, 倉岡 圭, 村島史朗, 原田和徳, 黒松亮子, 安東栄治, 佐田通夫. 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼治療後の長期予後. 第91回日本消化器病学会九州支部例会、第85回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 福岡, 2008年6月13日.
6. 黒松亮子, 安東栄治, 佐田通夫. 5cm以下単発肝癌の治療方針. JDDW (第12回日本肝臓学会大会、第50回日本消化器病学会大会), 東京, 2008年10月1日. 肝臓 2008; 49(Suppl.2): A462.
7. 住江修治, 黒松亮子, 奥田康司, 黒木淳一, 安東栄治, 高田晃男, 福嶋伸良, 長岡 栄, 井上欣哉, 新関 敬, 鳥村拓司, 佐田通夫. 肝細胞癌の診断における Sonazoid-US の有用性. JDDW (第12回日本肝臓学会大会), 東京, 2008年10月1日. 肝臓 2008; 49(Suppl.2): A576.
8. 酒井味和, 高田晃男, 黒松亮子, 安東栄治, 福嶋伸良, 住江修治, 鳥村拓司, 佐田通夫. 異所性に混合型肝癌、肝細胞癌の発生を認めた非B非C慢性肝炎の一例. 日本超音波医学会(第18回九州地方会), 鹿児島, 2008年10月5日.
9. 高田晃男, 黒松亮子, 安東栄治, 福嶋伸良, 住江修治, 酒井味和, 鳥村拓司, 佐田通夫. 腹部超音波検査にて肝内再発病変との鑑別困難であった硬化型肝細胞癌の横隔膜転移の1例. 日本超音波医学会(第18回九州地方会), 鹿児島, 2008年10月5日.

[平成21年度]

1. 住江修治, 黒松亮子, 奥田康司, 黒木淳一, 高田晃男, 福嶋伸良, 中野聖士, 井上欣哉, 新関敬, 鳥村拓司, 佐田通夫. 肝細胞癌の診断における Sonazoid-US の有用性. 第95回日本消化器病学会総会, 札幌, 2009年5月7日. 日本消化器病学会雑誌 2009; 106(Suppl.): A194.
2. 工藤まいさ, 田中正俊, 由谷 茂, 倉岡 圭,

兼行 聡, 原田和徳, 黒松亮子, 佐田通夫. 平均腫瘍径2cmの小肝細胞癌が自然経過で腫瘍径3cmを超えるまでの期間の検討. 第95回日本消化器病学会総会, 札幌, 2009年5月7日. 日本消化器病学会雑誌 2009; 106(Suppl.): A200.

3. 黒松亮子, 高田晃男, 佐田通夫. 小肝癌におけるラジオ波焼灼療法に適応一腫瘍マーカー、腫瘍肉眼型を中心に一. 第95回日本消化器病学会総会シンポジウム6, 2008年5月8日, 札幌. 日本消化器病学会雑誌 2008; Suppl.1: A45.
4. 田中正俊, 由谷 茂, 工藤まいさ, 倉岡 圭, 兼行 聡, 黒松亮子, 村島史朗, 佐田通夫. 病態に応じた肝細胞癌患者の自然経過. 第45回日本肝臓学会総会, 神戸, 2009年6月3日. 肝臓 2009; 50(Suppl.1): A149.
5. 田中正俊, 佐田通夫. 肝臓内科医からみた肝癌治療アルゴリズム. 第45回日本肝臓学会総会コンセンサスミーティング3, 2009年6月4日, 神戸. 肝臓 Suppl.1:A47)
6. 黒松亮子, 井出達也, 佐田通夫. C型肝硬変症例における肝癌根治後の IFN 治療の現状. 45回日本肝臓学会総会、口演、6月5日、神戸 (肝臓 Suppl.1:A205)
7. 諸熊治子, 高田晃男, 徳安秀紀, 黒松亮子, 佐田通夫. 診断に苦慮した肝原発神経内分泌腫瘍の1例. 第286回日本内科学会九州地方会, 鹿児島, 2009年08月22日.
8. 黒松亮子, 田中正俊, 佐田通夫. 高度の血小板減少を合併するC型肝炎患者における摘脾術の有用性. 第13回日本肝臓学会大会、第51回日本消化器病学会大会合同シンポジウム11、10月15日、京都 (肝臓 50 Suppl.2:A445)
9. 福嶋伸良, 鹿毛政義, 佐田通夫. C型肝炎ウイルスに対する Interferon 著効後の肝癌発症例における Insulin 抵抗性、Adipocytokine と肝線維化の検討. 第13回日本肝臓学会大会、第51回日本消化器病学会大会合同ワークショップ8、10月15日、京都 (肝臓 50 Suppl.2:A493)
10. 田浦直太, 八橋弘, 佐田通夫. 九州地区にお

- ける肝癌発生状況に関する検討. ポスター、第 13 回日本肝臓学会大会、10 月 15 日、京都 (肝臓 50 Suppl.2:A562)
11. 住江修治, 黒松亮子, 奥田康司, 黒木淳一, 高田晃男, 福嶋伸良, 中野聖士, 新関 敬, 岩本英希, 鳥村拓司, 佐田通夫. 肝細胞癌における腫瘍肉眼型の治療前予測の重要性. JDDW (第 13 回日本肝臓学会大会), 京都, 2009 年 10 月 14 日. 肝臓 2009; 50(Suppl.2): A560.
 12. 岩本英希, 永松洋明, 平成 守, 黒木淳一, 黒松亮子, 井上欣哉, 新関 敬, 高田晃男, 福嶋伸良, 住江修治, 中野聖士, 鳥村拓司, 吉田博, 佐田通夫. 単結節周囲増殖型及び多結節癒合型肝細胞癌に対する治療法の比較検討. JDDW (第 13 回日本肝臓学会大会), 京都, 2009 年 10 月 14 日. 肝臓 2009; 50(Suppl.2): A578.
 13. 中野聖士, 黒松亮子, 高田晃男, 福嶋伸良, 住江修治, 鳥村拓司, 中島 収, 矢野博久, 佐田通夫. 悪性リンパ腫の肝病変における造影超音波検査の特徴. JDDW (第 13 回日本肝臓学会大会), 京都, 2009 年 10 月 14 日. 肝臓 2009; 50(Suppl.2): A583.
 14. 高田晃男, 永松洋明, 水上直久, 渡辺次郎, 東南辰幸, 黒松亮子, 住江修治, 中野聖士, 佐田通夫. Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の肝細胞造影相における肝細胞癌の検討; Dynamic study における血流診断との比較. JDDW (第 13 回日本肝臓学会大会), 京都, 2009 年 10 月 14 日. 肝臓 2009; 50(Suppl.2): A590.
 15. 新関 敬, 黒木淳一, 岩本英希, 住江修治, 黒松亮子, 高田晃男, 中野聖士, 佐谷 学, 鳥村拓司, 佐田通夫. Stage IV-A 肝細胞癌に対する肝動注化学療法の予後良好群の層別化. 第 38 回日本肝臓学会西部会, 米子, 2009 年 12 月 4 日. 肝臓 2009; 50(Suppl.3): A683.
 16. 黒松亮子, 住江修治, 奥田康司, 中島 収, 佐田通夫. 画像診断による肝細胞癌の肉眼型の推測と意義. 第 16 回肝血流動態イメージ研究会, 神戸, 2010 年 1 月 30 日.
- [平成 22 年度]
1. 黒松亮子, 田中正俊, 佐田通夫. 過去 14 年間における肝癌の予後改善と集学的治療. 第 96 回日本消化器病学会総会, 新潟, 2010 年 4 月 22 日. 日本消化器病学会雑誌 2010; 107 (Suppl.):A121.
 2. 高田晃男, 黒松亮子, 住江修治, 中野聖士, 佐谷 学, 東南辰幸, 中島 収, 鳥村拓司, 佐田通夫. Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の肝細胞造影相を中心とした肝細胞癌診断能の検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010 年 05 月 27 日. 肝臓 2010; 51(Suppl.1):A84.
 3. 岩本英希, 鳥村拓司, 中村 徹, 黒木淳一, 新関 敬, 相野 一, 黒松亮子, 高田晃男, 住江修治, 佐谷 学, 中野聖士, 矢野博久, 上野隆登, 佐田通夫. 肝細胞癌における TS-1 を用いたメトロノミックケモセラピーの検討と Vandetanib 併用による作用増強効果の検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010 年 05 月 27 日. 肝臓 2010; 51(Suppl.1):A164.
 4. 黒木淳一, 鳥村拓司, 岩本英希, 相野 一, 新関 敬, 永松洋明, 福嶋博文, 矢野洋一, 田尻能祥, 黒松亮子, 佐田通夫. 門脈腫瘍栓を伴わない多発肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術と肝動注化学療法の前向き比較試験 - 多施設共同試験 -. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010 年 5 月 27 日. 肝臓 2010; 51 (Suppl.1):A183.
 5. 佐谷 学, 中野聖士, 住江修治, 高田晃男, 黒松亮子, 鳥村拓司, 佐田通夫. 小肝細胞癌における従来法と高感度 AFP-L3% 測定の有用性に関する検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010 年 5 月 27 日. 肝臓 2010; 51 (Suppl.1):A202.
 6. 黒松亮子, 高田晃男, 住江修治, 中野聖士, 佐谷 学, 鳥村拓司, 佐田通夫. HCV 陽性小肝癌治療後 3 年以上無再発症例の検討. 第 46 回日本肝臓学会総会, 山形, 2010 年 5 月 27 日. 肝臓 2010; 51(Suppl.1):A315.
 7. 中野聖士, 黒松亮子, 高田晃男, 住江修治, 佐

- 谷 学, 鳥村拓司, 上野隆登, 佐田通夫. 悪性リンパ腫の肝病変における造影超音波検査の特徴. 日本超音波医学会 (第 83 回学術集会), 京都, 2010 年 5 月 29 日. 超音波医学 2010; 37 (Suppl.):S498.
8. 高田晃男, 黒松亮子, 東南辰幸, 中島 収, 住江修治, 佐谷 学, 中野聖士, 鳥村拓司, 佐田通夫. Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の肝細胞造影相を中心とした小肝細胞癌診断の有効性の検討 (病理組織診断との) 対比. 第 46 回日本肝癌研究会, 大阪, 2010 年 7 月 8 日.
 9. 高田晃男, 黒松亮子, 東南辰幸, 中島 収, 住江修治, 佐谷 学, 中野聖士, 鳥村拓司, 佐田通夫. Gd-EOB-DTPA 造影 MRI で早期濃染のない結節を肝腫瘍生検にて病理診断後、経過観察をしている結節の検討. JDDW (第 14 回日本肝臓学会大会), 横浜, 2010 年 10 月 13 日. 肝臓 2010; 51(Suppl.2):A563.
 10. 住江修治, 黒松亮子, 中島 収, 奥田康司, 高田晃男, 中野聖士, 佐谷 学, 佐田通夫. 病理学的高度門脈侵襲の臨床的重要性と画像診断による腫瘍肉眼型予測の意義. JDDW (第 14 回日本肝臓学会大会), 横浜, 2010 年 10 月 13 日. 肝臓 2010; 51 (Suppl.2):A565.
 11. 黒松亮子, 高田晃男, 住江修治, 中野聖士, 佐谷 学, 鳥村拓司, 佐田通夫. HCV 陽性小肝癌治療後 3 年以上無再発症例の検討 - 長期生存を得るために -. JDDW (第 14 回日本肝臓学会大会), 横浜, 2010 年 10 月 13 日. 肝臓 2010; 51(Suppl.2):A620.
 12. 高田晃男, 東南辰幸, 中島 収, 黒松亮子, 住江修治, 佐谷 学, 中野聖士, 山田慎吾, 鳥村拓司, 佐田通夫. Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の肝細胞造影相を中心とした小肝細胞癌診断の有効性の検討 - 病理組織診断との対比 -. 第 25 回筑後 DDF, 久留米, 2010 年 10 月 8 日.
 13. 高田晃男, 黒松亮子, 住江修治, 中野聖士, 佐谷 学, 山田慎吾, 佐田通夫. A-P shunt を伴う肝血管腫の診断に Sonazoid 造影超音波検査が有用であった 1 例. 第 20 回日本超音波医学会九州地方会学術集会, 長崎, 2010 年 10 月 3 日.
- 青柳 豊
[平成 21 年度]
1. 田村 康, 須田剛士, 青柳 豊: 肝細胞癌診断、予後予測における高感度 AFP-L3 測定法の臨床的有用性. JDDW、2009.10.14.
- [平成 22 年度]
1. 田村康 五十嵐正人 川合弘一 須田剛士 青柳豊; 肝細胞癌サーベイランスにおける低濃度域 AFP の臨床的意義 肝臓学会 2010.5.28
- 田中 博
[平成 22 年度]
1. 茂櫛 薫、田中 真二、Mahmut Yasen、野口 典男、入江 工、工藤 篤、中村 典明、稲澤 譲治、田中 博、有井 滋樹、肝細胞癌の早期再発を予測する非癌部遺伝子発現プロファイル、第 46 回日本肝臓学会総会、山形、山形国際ホテル、2010 年 5 月 27 日～28 日 (口頭発表)
- 森安 史典
[平成 20 年度]
1. Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の肝癌診療ガイドラインにおける位置づけ (JDDW2008・第 12 回肝臓学会大会)
- [平成 21 年度]
1. EOB-MRI で検出された乏血性肝細胞癌の血流と臨床経過 (JDDW2009 第 13 回日本肝臓学会大会)
 2. 乏血性肝細胞癌における EOB-MRI の有用性 (第 45 回日本肝癌研究会)
 3. EOB-MRI で検出された乏血性肝細胞癌の血流と臨床経過 (第 2 回東京神奈川肝がん研究会)
- [平成 22 年度]
1. EOB-MRI 時代におけるソナゾイド造影超音波の意義 (第 28 回超音波ドプラ研究会 (2010.3.20) 東京)

2. 肝細胞癌診断におけるソナゾイド造影超音波の果たす役割—Gd-EOB-DTPA 造影 MRI との位置づけを中心に(第 52 回日本消化器病学会大会・第 14 回日本肝臓学会大会合同(2010.10.14) 横浜)

川崎 誠治

[平成 20 年度]

1. 川崎誠治. 肝臓に対する肝右葉切除術.第 5 回最新外科手術手技 Meet The Expert, 松山, 2008.1.26 (特別講演)

[平成 21 年度]

1. 川崎誠治. 肝: 高齢者肝臓の術式選択と注意点.日本外科学会第 75 回卒後教育セミナー, 福岡, 2009.4.4
2. 川崎誠治.肝臓の外科治療.第 8 回宮崎がんフォーラム, 宮崎, 2009.7.24 (特別講演)

[平成 22 年度]

1. 川崎誠治. 肝後区域切除術.第 110 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2010.4.10 (特別ビデオセッション)
2. 川崎誠治. 肝がんを治そう.富士宮市民公開講座, 富士宮, 2010.5.15 (講演)

角谷 眞澄

[平成 21 年度]

1. Kadoya M: (Member of Workshop) 1. the role of Primovist MRI in the evaluation of hepatocellular borderline in cirrhotic patients. 2. Learning to interpret atypical lesions with Primovist versus ECCM and how prevent pitfalls. 3. Functional assessment of the liver (including biliary imaging). 4. Multiparametric evaluation of HCC using Primovist MRI. The 3rd International Forum for Liver MRI (Rome, Italy), 2009.10.9-10
2. 山崎幸恵, 藤永康成, 大彌 歩, 渡辺智治, 井原信麿, 角谷 眞澄: 3.0T における Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の肝実質相至適撮像時間の検討. 第 68 回日本医学放射線学会総会

(横浜), 2009.4.19

3. 藤永康成, 高橋正明, 藤田 顕, 高橋加奈, 石井貴久子, 松下 剛, 平瀬雄一, 黒住昌弘, 上田和彦, 角谷眞澄: Gd-EOB-DTPA による dynamic MRI 早期相の artifact: 3T における 2D-FLASH と 3D-VIBE との比較. 第 68 回日本医学放射線学会総会 (横浜), 2009.4.19
4. 山田 哲, 角谷眞澄, 藤永康成, 上田和彦, 黒住昌弘, 黒住明子, 平瀬雄一, 松下 剛, 井原信麿, 渡辺智治: Gd-EOB-DTPA 造影 MRI 肝実質相における造影効果の検討(1): 細胞外液性造影効果. 第 68 回日本医学放射線学会総会 (横浜), 2009.4.19
5. 山田 哲, 角谷眞澄, 藤永康成, 上田和彦, 黒住昌弘, 柳沢 新, 山崎幸恵, 大彌 歩, 古川智子, 林 美奈: Gd-EOB-DTPA 造影 MRI 肝実質相における造影効果の検討(2): 肝細胞性造影効果. 第 68 回日本医学放射線学会総会 (横浜), 2009.4.19

[平成 22 年度]

1. Yamada A, Ueda K, Kurozumi M, Kawakami S, Fujinaga Y, Kadoya M: Quantitative evaluation of segmental liver reserve after transcatheter arterial chemoembolization by user of gadoxetate disodium-enhanced MR imaging. RSNA 2010 (Chicago), 2010.11.29
2. Yamada A, Hara T, Li F, Kadoya M, Doi K: Computerized analysis of function using gadoxetate disodium-enhanced MR imaging. RSNA 2010(Chicago), 2010.11.29
3. 山田 哲, 上田和彦, 丸山 舞, 小松大祐, 黒住昌弘, 川上 聡, 藤永康成, 角谷眞澄: Gadoxetate Disodium 造影 MRI による定量的肝機能評価. 第 17 回肝血流動態イメージ研究会 (横浜), 2011.1.29

泉 並木

[平成 22 年度]

1. 朝比奈靖弘他. 第 46 回日本肝臓学会総会シンポジウム、平成 22 年 5 月 27 日、山形。

2. 黒崎雅之他. 日本肝臓学会ワークショップ
山形、平成 22 年 5 月 28 日

高山 忠利

[平成 20 年度]

1. 國土典宏、長谷川潔、高山忠利、幕内雅敏:【特別演題・アカデミックマインドの涵養—若い外科医たちの夢を育む—】肝胆膵外科における無作為化比較試験(RCT)の経験、第 108 回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008 年 5 月。
2. 長谷川潔、國土典宏、高山忠利、青木琢、今村宏、別宮好文、菅原寧彦、幕内雅敏:【特別企画 5・消化器外科領域の動向と日本の国際的役割:高レベルのエビデンスを提案できる国を目指して】肝臓外科領域におけるエビデンスの創出:無作為化比較試験(RCT)施行の経験から、第 63 回日本消化器外科学会総会、札幌、2008 年 7 月。

[平成 21 年度]

1. 檜垣時夫、高山忠利、井上和人、中山壽之、森口正倫、大久保貴生、荒牧修、渡邊慶史、間宮孝夫、梶原崇弘、山崎慎太郎:【ビデオワークショップ(3)・出血の少ない肝切除-肝静脈灌流域を考慮した肝切除の実際】静脈再建による右肝静脈灌流域を温存した肝切除、第 109 回日本外科学会定期学術集会、福岡、2009 年 4 月。
2. 中山壽之、高山忠利、大久保貴生:【シンポジウム 6・肝癌治療のアルゴリズムの確立】肝癌診療ガイドラインにおける肝切除に対する治療アルゴリズムの妥当性の検討、第 95 回日本消化器病学会総会、2009 年 5 月。
3. 高山忠利、幕内雅敏、國土典宏:【特別企画・肝癌診療ガイドラインの改定公開シンポジウム】治療アルゴリズム、第 45 回日本肝臓学会総会、神戸、2009 年 6 月。

[平成 22 年度]

1. 長谷川 潔、菅原 寧彦、青木 琢、金子 順一、田村 純人、竹村 信行、石沢 武彰、三瀬 祥

弘、有田 淳一、脊山 泰治、別宮 好文、高山忠利、幕内 雅敏、國土 典宏:【シンポジウム(2):肝細胞癌の治療方針の変遷と展望】肝細胞癌に対する外科治療の発展と今後について—東京大学の取り組み、第 110 回日本外科学会定期学術集会、名古屋、2010 年 4 月。

2. 檜垣 時夫、高山 忠利、中山 壽之、中村 正彦、森口 正倫、大久保 貴生、荒牧 修、山崎 慎太郎、渡辺 慶史、間宮 孝夫、梶原 崇弘、青木 優:【ビデオワークショップ(1):解剖からみた合理的な肝切除】尾状葉肝癌術式の標準化、第 110 回日本外科学会定期学術集会、名古屋、2010 年 4 月。
3. 山崎 慎太郎、高山 忠利、林 友紀、森口 正倫、大久保 貴雄、荒牧 修、中山 壽之、檜垣 時夫:【ワークショップ(3):肝胆膵領域における RCT の結果と今後の展望】肝切除におけるステロイド投与の功罪: Randomized Control Study、第 110 回日本外科学会定期学術集会、名古屋、2010 年 4 月。
4. 高山 忠利:【特別ビデオセッション 9:肝胆膵-3】肝尾状葉単独全切除術、第 110 回日本外科学会定期学術集会、名古屋、2010 年 4 月。
5. 森口 正倫、高山 忠利、檜垣 時夫、中山 壽之、大久保 貴生、荒牧 修、山崎 慎太郎、渡邊 慶史、間宮 孝夫:【シンポジウム 3:肝細胞癌術後再発への治療戦略 —長期予後を目指して—】肝細胞癌切除後再発の治療戦略再切除と肝動脈塞栓術の比較適応について、第 65 回日本消化器外科学会総会、下関、2010 年 7 月。
6. 緑川 泰、杉山 保幸、高橋 孝夫、八木 浩一、高山 忠利、吉田 和弘、辻 真吾、油谷 浩幸:【シンポジウム 6:消化器癌化学療法における個別化医療の最前線】機械学習アルゴリズムによる大腸癌抗癌剤感受性予測を用いた個別化医療の実践、第 65 回日本消化器外科学会総会、下関、2010 年 7 月。
7. 檜垣 時夫、高山 忠利、中山 壽之、森口 正倫、大久保 貴生、荒牧 修、山崎 慎太郎、渡

辺 慶史、間宮 孝夫、梶原 崇弘：【ビデオシンポジウム 4：安全な肝切除への工夫】鉗子圧挫法による拡大右肝切除術、第 65 回日本消化器外科学会総会、下関、2010 年 7 月。

8. 荒牧修、高山忠利、檜垣時夫、大久保貴生、中山壽之、渡辺慶史、窪田信行、中田泰彦、神野大乗：【ビデオシンポジウム 2・最善の肝切除を目指した基本技術と新しい工夫】下大静脈・門脈腫瘍栓合併肝癌に対する肝授動先行右肝切除、第 72 回臨床外科学会総会、横浜、2010 年 11 月。

國土 典宏

[平成 20 年度]

1. 國土典宏 教育講演 安全で正確な肝臓手術に寄与する肝画像診断の進歩と今後の展望 第 27 回日本画像医学会 2 月 22 日 東京コンファレンスセンター 品川
2. 國土典宏 肝癌外科治療とインターフェロン 第 7 回 兵庫難治性肝疾患先端治療研究会 3 月 14 日 ホテル阪急インターナショナル
3. Norihiro Kokudo, Masatoshi Makuuchi (Keynote lecture) Evidence-based practice guidelines for hepatocellular carcinoma in Japan: the J-HCC Guidelines 日本消化器病学会雑誌 第 105 巻 臨時増刊号 A30 第 94 回日本消化器病学会総会 2008.5.8-10 福岡国際会議場
4. 國土典宏、長谷川潔、高山忠利、幕内雅敏 肝胆膵外科における無作為化比較試験(PCT)の経験 第 108 回日本外科学会定期学術集会 in 長崎 5 月 14-16 長崎 (日本外科学会雑誌 109 (2) 第 6 回臨床研究セミナー 5 月 16 日)
5. 國土典宏 特別講演: 化学療法の進歩をふまえた肝転移に対する外科治療戦略 第 4 回転移性肝癌術後補助化学療法研究会 2008.6 月 11 日 千葉 (京成ホテルミラマーレ)
6. 國土典宏 特別講演: 肝切除 基本手技と最近の進歩 第 40 回兵庫県手術手技研究会 兵庫 2008.6 月 10 日 生田神社館

7. 國土典宏 特別講演: 肝切除手技の進歩 第 18 回 東北肝臓外科研究会 仙台 2008.6 月 13 日
8. 國土典宏 特別講演: 肝癌の外科治療-最近の話題- 第 11 回福島県肝胆膵疾患研究会 2008.6 月 14 日 コラッセ福島
9. 國土典宏 講演: 肝細胞癌治療とインターフェロン療法 第 13 回肝癌治療シンポジウム 2008.6 月 20 日 名古屋 ホテルグランコート名古屋
10. 國土典宏 特別講演: 肝切除をめぐる最近の話題 第 10 回山梨消化器外科手術手技研究会 2008.6 月 21 日 山梨 アピオ甲府
11. Norihiro Kokudo, Y Sugawara Donor hepatectomy and Recipient's Hepatic Vein Reconstruction for Extended Right lobe Graft The 6th "5Asian Center's Living Donor Liver Transplantation Meeting
12. Norihiro Kokudo Aggressive Surgery for Liver Tumours International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (Mumbai) 28th 29th April 2008
13. 國土典宏 肝腫瘍患者に対するソナゾイドを用いた肝切除術中造影超音波の臨床的有効性の検討 第 2 回ソナゾイド研究会 2008 年 7 月 12 日 東京国際フォーラム
14. 國土典宏 特別企画 今世紀初頭の肝臓外科の動向 肝道外科の動向 第 63 回日本消化器外科学会総会 2008 年 7 月 16 日-18 日
15. 國土典宏 肝癌診療ガイドライン改訂に向けて 外科的治療の位置付け 第 63 回日本消化器外科学会総会、2008 年 7 月 16 日
16. 國土典宏 Surgical treatment comparison between resection and transplantation 第 5 回 Japan-Korea Liver Symposium (日韓肝疾患シンポジウム) 2008 年 8 月 30 日近畿大学 (大阪)
17. 國土典宏 講演: 肝細胞癌治療 (移植) 平成 20 年度 日本肝臓学会後期教育講習会 2008 年 12 月 4 日 ホテルオークラ東京

18. 國土典宏、橋本拓哉 多発肝転移に対する拡大肝切除術 日本外科学会雑誌 109 (5) : 318
19. 國土典宏、長谷川潔、高山忠利、幕内雅敏 肝胆膵外科における無作為化比較試験 (RCT) の経験 第 108 回日本外科学会定期学術集会 外科臨床研究の実践
20. Norihiro Kokudo STATE OF THE ART LECTURE Ultrasound use in liver surgery and living donor liver transplantaion EUROPEAN SCHOOL OF SURGICAL ULTRASONOGRAPHY 2008年10月27日-11月1日 AUDITORIUM Istituto Clinico Humanitas - IRCCS Via Manzoni 56 20089 Rozzano, MI - Italy
21. 國土典宏 シンポジウム 12 : 肝癌診療ガイドラインと臨床最前線 第 50 回日本消化器病学会 2008年10月1日-4日 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール グランドプリンスホテル高輪
22. 國土典宏 イブニングセミナー E-2 肝胆膵手術の現況と未来 日本レーザー医学会第 29 回日本レーザー医学会総会 2008年11月15日 東京工科大学八王子キャンパス
23. 國土典宏 多発肝転移に対する拡大肝切除術 日本外科学会第 74 回卒後教育セミナー 2008年11月29日 ホテルニューオオタニ東京 [平成 21 年度]
1. 國土典宏 肝癌外科治療の最近の話題 第 90 回 北海道外科学会 2009年2月21日 会場 かでる 2.7
2. 國土典宏、長谷川 潔、菅原寧彦 CM3-6 肝細胞癌に対する外科治療 第 45 回日本肝臓学会総会 肝臓 50 SUPPI(1) : A46 2009年6月4-5日 神戸ポートピアホテル・神戸国際展示場
3. Kokudo K Diagnostic and Treatment Algorithm (Use of Q&A Analyzer System) Sponsored by Chugai Pharmaceutical Co.,LTD 第3回国際肝癌シンポジウム KOBE 2009年6月6-7日 神戸
- ポートピアホテル(International Kobe Liver Symposium on HCC with a JSH-ILCA Joint Scientific Session)
4. 國土典宏 東大式右葉切除 第 21 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2009年6月10-12日 ウェスティンナゴヤキャッスル
5. 國土典宏 肝癌診療ガイドライン改訂の概要 第 45 回日本肝癌研究会 2009年7月3-4日 福岡国際会議場
6. Kokudo K Diagnostic and Treatment Algorithm 第 3 回国際肝癌シンポジウム KOBE 2009.6月6-7日 神戸
7. Norihiro Kokudo, Kiyoshi Hasegawa, Yusuke Inoue, Masatoshi Makuuchi. Surgical Treatment of hepatocellular Carcinoma accompanied by portal vein tumor thrombus Asian-pacific hepato-Pancreato-Biliary Association Marchi 25-27 2009
8. N.Kokudo, T Aoki, K Hasegawa, Y Inoue. Liver resection for HCC with portal vein invasion XII corso Di aggiornamento A,C,O,I in chirurgia epatica トリノ 5/20-22 2009 Associazione Chirurghi Ospedalieri Italiani
9. N Kokudo, T Aiki, K Haegawa, S Hata. The Tokyo experience XII corso Di aggiornamento A,C,O,I in chirurgia epatica トリノ 5/20-22 2009 Associazione Chirurghi Ospedalieri Italiani
10. N Kokudo, T Aoki, K Hasegawa, T Ishizawa. ICG fluoroscscopy in liver surgery XII corso Di aggiornamento A,C,O,I in chirurgia epatica トリノ 5/20-22 2009 Associazione Chirurghi Ospedalieri Italiani
11. 國土典宏、青木 琢、長谷川 潔、田村純人、幕内雅敏. 肝癌診療ガイドラインの現状と問題点 第 64 回日本消化器外科学会総会 (日消外会誌 42(7)) 2009.7月16-18日 大阪国際会議場
12. Kokudo N. Recent Advances in Preoperative Simulation and Navigation for Hepatobiliary Surgery 19th World Congress of the

International Association of Surgeons and
Gastroenterologists, and Oncologists
September 23-26, 北京

13. Kokudo N. Can we Extend indication of liver Transplantation for Extra-Milan HCC Cases? 19th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists, and Oncologists September 23-26, 北京
14. Kokudo N. Hepatic Vein Reconstruction in Living Donor Liver Transplantation IASGO 17th International Association for Surgeons, Gastroenterologists & Oncologists アテネ 2009.12.4-5
15. Kokudo N. Preoperative Simulation for Liver Surgery using 3D Image Processing Software IASGO 17th International Association for Surgeons, Gastroenterologists & Oncologists アテネ 2009.12.4-5

[平成 22 年度]

1. 國土典宏 特別講演 肝細胞癌外科治療—最近の話題 熊本癌治療セミナー 2010.1 月 28 日 熊本 (ヤンセンファーマ)
2. 國土典宏 テーマ: Metastasectomy 外科的手術 放射線・薬物療法の限界 「脾臓 膵臓」 泌尿器がん治療フォーラム 2010 2010.3 月 27 日 東京
3. Norihiro Kokudo, Shojiro Hata, Kiyoshi Hasegawa, Taku Aoki, Yoshifumi Beck, Yasuhiko Sugawara, IS-1-3 Aggressive hepatic resection is the first-line therapeutic choice 第 110 回日本外科学会定期学術集会 2010 4 月 8 日-10 日 名古屋
4. 國土典宏, 長谷川 潔. CR-2-3 初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究 (SURF Trial) 第 110 回日本外科学会定期学術集会 2010 4 月 8 日-10 日 名古屋
5. 國土典宏 最新の肝癌外科手術法 第 2 回 Tokyo-Bay cancer Symposium in MAKUHARI 2010.2 月 20 日 千葉
6. 國土典宏, 廣田省三 シンポジウム 2 門脈圧亢進症治療における PSE・脾摘の役割 第 16 回日本門脈圧亢進症学会総会 2009 年 9 月 10-11 日 福島 郡山
7. 國土典宏 外科臨床研究の実践 厚生労働科学研究事業の報告 第 8 回臨床研究セミナー (第 110 回日本外科学会定期学術集会 2010 4 月 8 日-10 日 名古屋
8. 國土典宏 特別講演 Aggressive liver resection for colorectal metastases: Japanese liver surgeons' point of view よこはま外科シンポジウム 2010.5 月 14 日 横浜 (大鵬主催)
9. 國土典宏 ランチョン 10 肝臓 Specialist による大腸がん転移への新たな挑戦—Cure をめざして— 第 22 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010、5 月 26-28 日 仙台
10. 國土典宏, 長谷川 潔, 幕内雅敏 EL1-2 肝癌診療ガイドライン 2009 年版について 第 22 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010、5 月 26-28 日 仙台
11. Norihiro Kokudo, Takeaki Isshizawa, Kiyoshi Hasegawa, Hiroyuki Nitta, Go Wakabayashi and Hironori Kaneko. Laparoscopic Liver Resection in the View of Liver Surgeon 5th Postgraduate Course of Laparoscopic Surgery 2010 香港
12. Norihiro Kokudo, Sumihito Tamura, Yasuhiko Sugawara. Right lobe or Left lobe 5th Postgraduate Course of Laparoscopic Surgery 2010 香港
13. 國土典宏 座長 セッション 5 第 2 回 日本がん分子標的治療研究会 2010.6 月 19 日 大手町サンケイプラザ
14. 國土典宏 特別講演 大腸癌肝転移の外科治療 最近の話題 第 33 回 長崎県北消化器癌研究会 2010.7 月 17 日 佐世保
15. 國土典宏 ランチョンセミナー 19 (LS-19) 肝細胞癌治療のパラダイムシフト: 分子標的治療薬と外科医の役割 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.7 月 14-16 日 下関

16. 國土典宏 司会 シンポジウム 食道胃静脈
瘤治療の理論と実践 第 17 回門脈圧亢進症学
会総会 2010.9 月 9 日-10 日 富山 G

稲澤 譲治

[平成 20 年度]

1. 藍原有弘、田中真二、Mahmut Yasen、茂櫛薫、
野口典夫、工藤篤、中村典明、伊東浩次、井
本逸勢、稲澤譲治、三木義男、田中博、有井
滋樹. 肝癌に対する選択的 Aurora kinase B 阻
害剤の前臨床研究. 第 67 回日本癌学会学術総
会, 名古屋, 2008.10.29

[平成 21 年度]

1. 井本逸勢、松村聡、小崎健一、有井滋樹、稲
澤譲治. ゲノムワイドな統合的 DNA メチル
化異常解析による肝癌抑制遺伝子候補探索.
日本人類遺伝学会第 54 回大会, 東京,
2009.9.26
2. 田中真二、藍原有弘、茂櫛薫、ヤーセン マー
ムット、野口典男、入江工、工藤篤、中村典
明、井本逸勢、三木義男、稲澤譲治、田中博、
有井滋樹. 肝癌再発ネットワーク解析に基づ
く Aurora kinase B 分子標的治療の開発. 第 68
回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.1
3. 新井恵吏、牛島抄織、後藤政広、尾島英知、
小菅智男、細田文恵、柴田龍弘、近藤格、横
井左奈、井本逸勢、稲澤譲治、廣橋説雄、金
井弥栄. 肝細胞がんとその前がん状態である
慢性肝炎・肝硬変症におけるゲノム網羅的
DNA メチル化プロファイル. 第 68 回日本癌
学会学術総会, 横浜, 2009.10.2
4. 古田繭子、小崎健一、田中真二、有井滋樹、
井本逸勢、稲澤譲治. 肝細胞癌において腫瘍
特異的 DNA 過剰メチル化により発現抑制さ
れる癌抑制 microRNA. 第 68 回日本癌学会学
術総会, 横浜, 2009.10.2
5. 松村聡、井本逸勢、小崎健一、有井滋樹、稲
澤譲治. 肝細胞癌においてエピゲノムで制御
されるがん抑制遺伝子の統合的アレイ解析.
第 68 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.2

[平成 22 年度]

1. Furuta M, Kozaki K, Tanaka S, Arie S, Imoto I,
Inazawa J. miR-124 and miR-203 are
epigenetically silenced tumor-suppressive
microRNAs in hepatocellular carcinoma. 101th
annual meeting of American Association for
Cancer Research, Washington, DC, USA,
2010.4.19
2. 松村聡、井本逸勢、小崎健一、田中真二、有
井滋樹、稲澤譲治. 肝細胞癌における CpG ア
イルランドの過剰メチル化により発現抑制され
る新規がん抑制遺伝子の同定. 第 69 回日本癌
学会学術総会, 大阪, 2010.9.23.
3. 古田繭子、小崎健一、田中真二、有井滋樹、
井本逸勢、稲澤譲治. Functional スクリーニン
グを用いた肝細胞癌抑制性 microRNA の同定.
第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.24.
4. 田中真二、茂櫛薫、藍原有弘、松村聡、ヤセ
ンマムット、稲澤譲治、田中博、有井滋樹.
肝細胞癌の肉眼形態が示す特異的遺伝子発現
パターンと分子標的 EpCAM の意義第 69 回日
本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.24.(ワーク
ショップ)
5. Furuta M, Kozaki KI, Tanaka S, Arie S, Imoto I,
Inazawa J. Functional genomics-assisted
approach identifies candidates for
tumor-suppressive microRNAs in hepatocellular
carcinoma. 第 33 回日本分子生物学会年会・第
83 回日本生化学会大会合同大会, 神戸,
2010.12.8

山本 雅一

[平成 20 年度]

1. Yamamoto M. Surgical treatment of intrahepatic
cholangiocarcinoma (Surgical strategy against
liver malignancies). 18th Conference of the Asian
Pacific Association for the Study of the Liver,
Seoul, 2008.
2. Yamamoto M. Vascular control in hepatic
resection glissonean approach. 8th World

Congress of the International Hepato Pancreato Biliary Association. INDIA, 2008

3. Yamamoto M. How to perform anatomical subsegmentectomy using glissonean pedicle approach. 8th World Congress of the International Hepato Pancreato Biliary Association. INDIA, 2008.
4. 山本雅一. 肝門部胆肝癌の治療戦略：切除断端と剥離面の陰性化を目的とした術式の工夫と限界点).第 63 回日本消化器外科学会総会.札幌.2008.
5. Yamamoto M. Clinicopathological aspects of patients with small hepatocellular carcinoma and systematic hepatectomy by the glissonean pedicle approach. Mongolian-Japanese 6th Joint Symposium. Mongolia.2008.
6. 山本雅一. 肝癌の外科病理 (会長講演).第 13 回日本外科病理学会学術集会.東京 2008.
7. Yamamoto M. Surgical Resection: Eastern Experience (Symposium 6A: Treatment of Single HCC in 2-5cm: Debate on Gray Zone). 6th International Meeting Hepatocellular Carcinoma: Eastern and Western Experiences. Seoul (Korea).2008
8. Yamamoto M. Anatomical subsegmentectomy using glissonean pedicle approach in liver surgery. XXXVI biennial World Congress of the International College of Surgeons. Vienna (Austria).2008

[平成 21 年度]

1. Yamamoto M. Resection in Cirrhotic Liver. 7th Conference on EVIDENCE BASED MANAGEMENT OF CANCER IN INDEA. India.2009
2. Yamamoto M. Ariizumi S, Katagiri S. The value of anatomical liver section for hepatocellular carcinoma less than 5cm in diameter. Symposium: Nowadays'approaches in cancer treatment. Ulaanbaatar (Mongolia). 2009.
3. 山本雅一. (サテライトシンポジウム) 女子医

大式右葉切除. 第 21 回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 名古屋. 2009

4. Yamamoto M. The Glissonean pedicle approach in liver surgery. Laparoscopic surgery new technique symposium. China. 2009.
5. Yamamoto M. Colangiocarcinoma intrahepatico. Dianostico y tratamienoto. SIMPOSIUM INTERNACIONAL DE ENFERMEDADES DEL SISTEMA DIGESTIVO.サンホセ (コスタリカ).2009
6. 山本雅一. 胆管細胞癌の治療について. 第 16 回肝癌治療シンポジウム.名古屋. 2009.
7. 山本雅一. 肝癌進行度と系統的切除. 第 42 回神奈川県消化器医学会総会. 横浜, 2009
8. Yamamoto M. Glissonean pedicle approach in liver surgery. 61st Annual Congress of the Korea Surgical Society. Korea.2009.
9. Yamamoto M. Surgical approach for cholangiocellular carcinoma (including hilar & intrahepatic lesions) Surgical treatment of intrahepatic cholangiocarcinoma. 61st Annual Congress of the Korea Surgical Society. Korea.2009.
10. Yamamoto M. Surgical Treatment of Interhepatic Cholangiocarcinoma. The 2009 DMA Annual Scientific Conference and The 10th National Cancer Conference: A Joint Meeting. Bangkok (Thailand).2009

[平成 22 年度]

1. 山本雅一. 小型肝癌の画像形態・肉眼分類による治療選択. 外科治療の立場から「小型肝癌に対する肝領域切除」. 第 4 回大塚リバーシンポジウム静岡,静岡,2010
2. 山本雅一. 肝硬変合併肝細胞癌の外科治療. 第 50 回東海肝臓外科懇談会記念大会 - 次世代の肝臓外科医育成を目指して -. 名古屋. 2010.
3. Yamamoto M. Liver resection combined with IVC graft replacement. 9th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary

- Association (IHPBA2010). Argentina. 2010.
4. Yamamoto M. Surgical anatomy of the liver in the Glissonean pedicle approach- What we need to know-. The liver Cancer: diagnosis and treatments. Mongolia. 2010
 5. Yamamoto M. The Value of anatomical sectionectomy for patients with a hepatocellular carcinoma 2 to 5 cm in diameter. 内科及外科新地国際研討會. Taiwan. 2010.
 6. Yamamoto M. Glissonean pedicle approach for hepatic resection. German-Japanese Cancer Symposium. Cologne. 2010.
 7. Yamamoto M. Symposium 2. The present status of HCC treatment in Asian countries. Systemic resection for HCC. 9th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society. Gifu. 2010.
 8. 山本雅一. 特別講演.肝硬変合併肝癌の外科治療. 第 38 回青森県肝胆膵研究プログラム. 青森. 2010.
 9. 山本雅一, 有泉俊一. パネルディスカッション 10. 肝臓学会・消化器病学会合同. 進行性慢性肝疾患からの胆管癌、混合型肝癌の発生とその病態) 進行性肝性肝疾患から発生した肝内胆管癌の臨床病理像の特徴. 第 14 回日本肝臓学会大会, 第 52 回日本消化器病学会大会. 横浜. 2010.
 10. 山本雅一. ランチョンセミナー. 肝内胆管癌の外科病理. 第 15 回日本外科病理学学術集会. 横浜. 2010.
 11. 山本雅一. ランチョンセミナー. 外科医が必要とする肝臓 MRI 画像所見. 第 38 回日本磁気共鳴医学会大会. つくば. 2010.
 12. 山本雅一. 肝切除術の変遷 開腹肝切除術から内視鏡下肝切除術.第 72 回日本臨床外科学会総会.横浜. 2010.
 13. 山本雅一. 特別講演 I. 肝硬変合併肝細胞癌の外科治療. 東京外科系臨床研究会第 29 回学術集会. 東京. 2010.
- 飯島 尋子
[平成 21 年度]
1. Enomoto H, Inoue S.I, Yamada D, Sakai Y, Aizawa N, Yoshikawa S, Yamamoto T, Ishii A, Koh N, Iwata Y, Saito M, Imanishi H, Shimomura S, Iijima H, Nakamura H, Matsuhisa A, Nishiguchi S. Detection of the causative pathogen using the in-situ hybridization kit in a patient with spontaneous bacterial peritonitis. 19th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. 2009.2 Hong Kong
 2. Liu W.d, Nakamura H, Cao K, Yamamoto T, Enomoto H, Iwata Y, Koh N, Saito M, Imanishi H, Shimomura S, Iijima H, Nishiguchi S. Vitamin K2 suppresses the expression of fibroblast growth factor receptor 3 in Hepatocellular carcinoma cell. 9th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. 2009.2 Hong Kong
 3. Tanaka H, Iijima H, Saito M, Aizawa N, Yamamoto T, Enomoto H, Iwata Y, Imanishi H, Shimomura S, Hirota S, Hirota S, Yamanaka J, Imuro Y, Fujimoto J, Nishiguchi S. New malignancy grading system for hepatocellular carcinoma using Sonazoid contrast enhanced ultrasonography. 60th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2009) 2009.10 Boston
 4. Iijima H, Tanaka H, Saito M, Aizawa N, Yamamoto T, Enomoto H, Iwata Y, Imanishi H, Shimomura S, Yamanaka J, Fujimoto J, Hirota S, Tsujimura T, Nishiguchi S. Non-invasive diagnosis of liver fibrosis using virtual touch tissue quantification. 60th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2009) 2009.10 Boston
 5. Yamanaka J, Sugimoto T, Iijima H, Tanaka H, Hirano T, Kuroda N, Okada T, Saito S, Asano Y, Uyama N, Satake M, Yoshida Y, Suzumura K, Nishiguchi S, Fujimoto J. Usefulness of contrast-enhanced intraoperative ultrasonography

- in cirrhotic patients undergoing liver resection for hepatocellular carcinoma. 60th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2009) 2009.10 Boston
6. Enomoto H, Tsujimura T, Nakamura H, Imanishi H, Saito M, Yamamoto T, Iwata Y, Tanaka H, Shimomura S, Iijima H, Nishiguchi S. Analyses of the antiangiogenetic and antitumor effects of interferons. 60th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2009) 2009.10 Boston
 7. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. Sonazoid 造影超音波による肝細胞癌および前癌病変の診断. (ワークショップ) 第 95 回日本消化器病学会総会 日本消化器病学会雑誌 (106) ; A126 2009
 8. 田中弘教, 飯島尋子, Aoki Noriaki, 下村壯治, 今西宏安, 齋藤正紀, 康典利, 榎本平之, 岩田恵典, 中村秀次, 西口修平. C 型肝炎患者に対する造影超音波検査による肝癌サーベイランスの費用効果分析. 第 95 回日本消化器病学会総会 日本消化器病学会雑誌 (106) ; A197 2009
 9. 田中弘教, 飯島尋子, 東浦晶子, 下村壯治, 齋藤正紀, 藤元治朗, 廣田誠一, 廣田省三, 西口修平. 造影超音波検査を用いた肝癌の悪性度分類. (シンポジウム) 日本超音波医学会 第 82 回学術集会 超音波医学 (36) Suppl; S163 2009
 10. 飯島尋子, 田中弘教, 西口修平. ARFI による肝疾患診断. (シンポジウム) 日本超音波医学会 第 82 回学術集会 超音波医学 (36) Suppl ; S178 2009
 11. 吉田昌弘, 田中弘教, 山平正浩, 吉本直喜, 東浦晶子, 柴田陽子, 橋本眞里子, 會澤信弘, 齋藤雅博, 平山秀男, 齋藤正紀, 辻村亨, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. 肝線維化診断における ARFI の有用性. 日本超音波医学会 第 82 回学術集会 超音波医学 (36) Suppl; S403 2009
 12. 田中弘教, 飯島尋子, 齋藤正紀, 下村壯治, 今西宏安, 康典利, 榎本平之, 岩田恵典, 山本晃久, 會澤信弘, 坂井良行, 山田大輔, 中村秀次, 西口修平. Sonazoid 造影超音波による肝癌分化度診断の試み. 第 45 回日本肝臓学会総会 肝臓 (50) Suppl.1 ; A124 2009
 13. 田中弘教, 飯島尋子, 齋藤正紀, 下村壯治, 今西宏安, 康典利, 榎本平之, 岩田恵典, 山本晃久, 會澤信弘, 坂井良行, 山田大輔, 中村秀次, 廣田誠一, 辻村亨, 西口修平. 造影超音波検査を用いた輝度解析による慢性肝炎進展度の推定の試み. 第 45 回日本肝臓学会総会 肝臓 (50) Suppl.1 ; A372 2009
 14. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. 非侵襲的肝病態評価法の進歩 Virtual Touch Tissue Quantification による肝疾患診断. 第 13 回日本肝臓学会大会 肝臓 (50) Suppl.2 ; A450 2009
 15. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. 早期肝細胞癌の診断ストラテジー 早期肝癌の診断における造影超音波検査の位置づけ. (ワークショップ) 第 13 回日本肝臓学会大会 肝臓 (50) Suppl.2 ; A481 2009
 16. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. 早期肝細胞癌の診断ストラテジー 早期肝癌の診断における造影超音波検査の位置づけ. 第 47 回日本消化器がん検診学会大会 (JDDDW2009) 日本消化器がん検診学会雑誌 (47) ; 110 2009
 17. Tanaka H, Iijima H, Higashiura A, Saito M, Aizawa N, Sakai Y, Yoshikawa S, Yamamoto T, Enomoto H, Iwata Y, Imanishi H, Shimomura S, Nakamura H, Hirota S, Tujimura T, Nishigami T, Yamanaka J, Fujimoto J, Nishiguchi S. New malignancy grading system for hepatocellular carcinoma using sonazoid contrast enhanced ultrasonography. 3rd International Kobe Liver Symposium on HCC with a JSH-ILCA joint Scientific Session. 3rd International Kobe Liver Symposium on HCC with a JSH-ILCA joint Scientific Session Program 138 2009
 18. 飯島尋子. 肝疾患の造影超音波診断—現状と展望—. (ランチョンセミナー) 日本超音波医

- 学会東北地方会第 38 回学術集会 日本超音波医学会 東北地方会第 28 回学術集会プログラム・抄録集 2009
19. 飯島尋子. 肝臓超音波診断の進歩. (ランチオンセミナー) 日本超音波医学会第 45 回中国地方学術集会・第 8 回中国地方会講習会 2009
 20. 東浦晶子, 田中弘教, 山平正浩, 吉田昌弘, 柴田陽子, 橋本眞里子, 藤元治朗, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. Sonazoid Kupffer イメージを用いた low MI と high MI による肝細胞癌診断の試み. 日本超音波医学会第 36 回関西地方会学術集会 2009.10 大阪
 21. 橋本眞里子, 田中弘教, 東浦晶子, 柴田陽子, 西村純子, 松永桃子, 山平正浩, 吉田昌弘, 西口修平, 飯島尋子. Sonazoid 造影超音波検査の臨床検査値に及ぼす影響. 日本超音波医学会第 36 回関西地方会学術集会 2009.10 大阪
 22. 吉田昌弘, 田中弘教, 山平正浩, 東浦晶子, 柴田陽子, 橋本眞里子, 平山秀男, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. 肝線維化診断における Acoustic Radiation Force Impulse (ARFI) の有用性. 日本超音波医学会第 36 回関西地方会学術集会 2009.10 大阪
 23. 吉田昌弘, 田中弘教, 山平正浩, 東浦晶子, 柴田陽子, 橋本眞里子, 斎藤雅博, 藤元治朗, 西口修平, 飯島尋子. 肝腫瘍性病変における Acoustic Radiation Force Impulse (ARFI) の検討. 日本超音波医学会第 36 回関西地方会学術集会 2009.10 大阪
 24. 吉田昌弘, 田中弘教, 橋本眞里子, 柴田陽子, 西村純子, 松永桃子, 吉本直喜, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. 慢性肝疾患の線維化診断における肝生検組織所見と ARFI の乖離例の検討. 日本超音波医学会第 36 回関西地方会学術集会 2009.10 大阪
 25. 田中弘教, 飯島尋子. 肝腫瘍における Fundamental B mode と造影超音波の比較. 日本超音波医学会第 36 回関西地方会学術集会 2009.10 大阪
 26. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. Virtual Touch Tissue Quantification 法を用いた肝線維化の非襲的評価法. 第 38 回日本肝臓学会西部会 肝臓 (50) ; A665 2009
 27. 助永憲比古, 田中弘教, 飯島尋子, 石井昭生, 高嶋智之, 坂井良行, 會澤信弘, 山本晃久, 岩田恵典, 榎本平之, 齋藤正紀, 今西宏安, 下村壯治, 西口修平, 中正恵二, 廣田誠一, 中井紀博, 麻野泰包, 山中潤一, 藤元治朗. EOB-MRI の肝細胞造影相で high intensity を呈した HCC の 1 例. 第 38 回日本肝臓学会西部会 肝臓 (50) Suppl.3 ; A751 2009
- [平成 22 年度]
1. Iijima H, Tanaka H, Ikeda N, Enomoto H, Iwata Y, Imanishi H, Shimomura S, Fujimoto J, Hirota S, Tsujimura T, Mogushi K, Tanaka H, Nishiguchi S. Usefulness of VTTQ (Virtual Touch Tissue Quantification) to diagnose fibrosis and inflammation in chronic hepatitis. The 61th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2010) 2010.10 Boston
 2. Iijima H, Tanaka H, Aizawa N, Ikeda N, Enomoto H, Saito M, Imanishi H, Shimomura S, Iimuro Y, Fujimoto J, Nishiguchi S. Malignant grading system using the contrast enhanced agent “Sonazoid” could predict portal venous invasion by Hepatocellular carcinoma? The 61th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD2010) 2010.10 Boston
 3. Tanaka H, Iijima H, Higashiura A, Aizawa N, Ikeda N, Enomoto H, Iwata Y, Saito M, Imanishi H, Shimomura S, Hirota S, Nishigami T, Tsujimura T, Fujimoto J, Nishiguchi S. Prediction of portal venous invasion by malignant grading system for Hepatocellular carcinoma using Sonazoid contrast enhanced ultrasonography. 12th International symposium on ultrasound contrast imaging/2th Asian conference

- on ultrasound contrast imaging 2010.12 Tokyo
4. 田中弘教, 飯島尋子, 東浦晶子, 楊和典, 岩井孝史, 石井昭生, 高嶋智之, 坂井良行, 會澤信弘, 山本晃久, 池田直人, 岩田恵典, 榎本平之, 齋藤正紀, 今西宏安, 下村壯治, 西口修平. Sonazoid 造影超音波の Kupffer 相もにおける高音圧画像評価の有用性. 第 96 回日本消化器病学会総会 日本消化器病学会雑誌,2010: 107: A303 新潟
 5. 田中弘教, 飯島尋子, 岩井孝史, 楊和典, 石井昭生, 高嶋智之, 坂井良行, 會澤信弘, 山本晃久, 池田直人, 岩田恵典, 榎本平之, 齋藤正紀, 今西宏安, 下村壯治, 西口修平. 肝癌診断における EOB MRI と造影超音波検査の位置づけ. 第 46 回日本肝臓学会総会 肝臓,2010:51 Suppl.1:A40 山形
 6. 田中弘教, 飯島尋子, 東浦晶子, 會澤信弘, 西上隆之, 辻村亨, 廣田誠一, 山中潤一, 藤元治朗, 西口修平. 造影超音波検査を用いた肝細胞癌の悪性度評価および分子標的薬治療効果判定. (シンポジウム) 日本超音波医学会第 83 回学術集会 超音波医学,2010: 37 Suppl.: S153 京都
 7. 吉田昌弘, 田中弘教, 山平正浩, 東浦晶子, 柴田陽子, 橋本眞里子, 辻村亨, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. 肝線維化診断における Virtual Touch Tissue Quantification (VTTQ) 法の有用性. (ワークショップ) 日本超音波医学会第 83 回学術集会 超音波医学,2010: 37 Suppl.: S277 京都
 8. 飯島尋子, 神山直久, 吉田哲也. びまん性肝疾患のための肝表面凹凸のリアルタイム解析. (ワークショップ) 日本超音波医学会第 83 回学術集会 超音波医学,2010: 37 Suppl.: S281 京都
 9. 飯島尋子, 脇英彦, 佐々木俊一, 田中弘教, 工藤篤, 有井滋樹, 市野瀬志津子, 西口修平, 和氣健二郎. 肝腫瘍の超音波診断基準の検証 ペルフルオロブタンマイクロバブルによる肝臓造影時相の定義. (特別企画) 日本超音波医学会第 83 回学術集会 超音波医学,2010: 37 Suppl.: S295 京都
 10. 田中弘教, 飯島尋子, 東浦晶子, 會澤信弘, 西上隆之, 辻村亨, 廣田誠一, 山中潤一, 藤元治朗, 西口修平. 造影超音波検査による肝癌悪性グレード分類を用いた門脈侵襲予測. 日本超音波医学会第 83 回学術集会超音波医学,2010: 37 Suppl.: S313 京都
 11. 吉田昌弘, 田中弘教, 吉本直喜, 會澤信弘, 齋藤正紀, 西上隆之, 辻村亨, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. 肝腫慢性肝疾患の線維化診断における肝生検組織所見と VTTQ 法の乖離例の検討. 日本超音波医学会第 83 回学術集会超音波医学,2010: 37 Suppl.: S385 京都
 12. 吉田昌弘, 田中弘教, 西村純子, 松永桃子, 奥平久美子, 平山秀男, 山中潤一, 藤本治朗, 西口修平, 飯島尋子. 肝腫瘍性病変における Virtual Touch Tissue Quantification (VTTQ) 法の検討. 日本超音波医学会第 83 回学術集会 超音波医学,2010: 37 Suppl.: S391 京都
 13. 東浦晶子, 田中弘教, 山平正浩, 吉田昌弘, 柴田陽子, 橋本眞里子, 藤元治朗, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. Sonazoid 造影超音波での HCC および DN 診断における高音圧モード併用の有用性. 日本超音波医学会第 83 回学術集会 超音波医学,2010: 37 Suppl.: S396 京都
 14. 飯島尋子. 最新の超音波医療の潮風—4D プログを用いた超音波診断と治療への応用—. (ランチョンセミナー) 日本超音波医学会第 83 回学術集会・共催セミナー 2010.4 京都
 15. 飯島尋子. エコーで肝疾患の組織診断に迫る. (ランチョンセミナー) 日本超音波医学会第 83 回学術集会・共催セミナー 2010.4 京都
 16. 飯島尋子. 腫瘍性肝疾患の超音波診断. (教育セッション) 日本超音波医学会第 83 回学術集会・第 9 回教育セッション 2010.4 京都
 17. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. 肝細胞癌診断の超音波検査の最適化の方向性を探る. (ワークショップ) 第 14 回日本肝臓学会大会 (JDDW2010) 肝臓, 2010: 51 Suppl.2: A492 横

浜

18. 田中弘教, 飯島尋子, 西口修平. 費用効果からみたC型慢性肝炎の効率的な肝癌早期診断システムを考える. (ワークショップ) 第14回日本肝臓学会大会 (JDDW2010) 肝臓, 2010: 51 Suppl.2: A497 横浜
19. 飯島尋子. 肝疾患における線維化診断 (第18回講習会) 日本超音波医学会東北地方会第40回学術集会 2010.9 仙台
20. 吉田昌弘, 田中弘教, 山平正浩, 東浦晶子, 橋本眞里子, 森脇英一郎, 辻村亨, 廣田誠一, 西口修平, 飯島尋子. 慢性肝疾患における Virtual Touch Tissue Quantification (VTTQ) 測定値の測定時期による影響. 日本超音波医学会第37回関西地方会学術集会 2010.10 神戸
21. 吉田昌弘, 田中弘教, 西村純子, 松永桃子, 平山秀男, 岩井孝史, 會澤信弘, 藤元治朗, 西口修平, 飯島尋子. 肝腫瘍性病変における Virtual Touch Tissue Quantification (VTTQ) 法の検討. 日本超音波医学会第37回関西地方会学術集会 2010.10 神戸
22. 東浦晶子, 田中弘教, 山平正浩, 吉田昌弘, 柴田陽子, 橋本眞里子, 藤元治朗, 西上隆之, 西上隆之, 飯島尋子. Sonazoid 造影超音波の肝細胞癌診断における ADF (advanced dynamic Flow) 併用の有用性. 日本超音波医学会第37回関西地方会学術集会 2010.10 神戸
23. 飯島尋子, 山平正浩, 吉田昌弘, 東浦晶子, 柴田陽子, 橋本眞里子, 田中弘教, 赤尾憲二, 西口修平. 正常肝における Kupffer 相 (後血管相) 診断の再循環による影響. 日本超音波医学会第37回関西地方会学術集会 2010.10 神戸
24. 飯島尋子. 肝疾患の超音波診断-その変遷と新しい展開-. (教育講演) 第38回日本肝臓学会東部会 2010.12 東京

佐賀 恒夫

[平成 22 年度]

1. Chizuru Sogawa, Atsushi Tsuji, Takako Furukawa, Mitsuru Koizumi, Yoshikazu Kurosawa, Tsuneo Saga, et.al. Molecular Imaging of Hepatocellular Carcinoma using Human Anti-EGFR Monoclonal Antibody. World Federation of Nuclear Medicine and Biology 2010.Cape Town, South Africa. 2010.9.18-23.
2. Chizuru Sogawa, Atsushi Tsuji, Takako Furukawa, Mitsuru Koizumi, Yoshikazu Kurosawa, Tsuneo Saga, et.al. Evaluation of a Novel Human Anti-EGFR Monoclonal Antibody as an Imaging Probe. World Molecular Imaging Congress 2010. Kyoto, Japan. 2010.9.8-11.
3. Zhao-Hui Jin, Takako Furukawa, Toshimitsu Fukumura, Tsuneo Saga, Yasuhisa Fujibayashi, et.al. PET-Imaging of Tumor alphaVbeta3-Integrin Expression with a Novel Probe 64Cu-cyclam-RAFT-c-(RGDfK-)4. World Molecular Imaging Congress 2010. Kyoto, Japan. 2010.9.8-11.

井本 逸勢

[平成 20 年度]

1. 藍原有弘、田中真二、Mahmut Yasen、茂櫛薫、野口典夫、工藤篤、中村典明、伊東浩次、井本逸勢、稲澤譲治、三木義男、田中博、有井滋樹. 肝癌に対する選択的 Aurora kinase B 阻害剤の前臨床研究. 第67回日本癌学会学術総会, 名古屋, 2008.10.29

[平成 21 年度]

1. 井本逸勢、松村聡、小崎健一、有井滋樹、稲澤譲治. ゲノムワイドな統合的DNAメチル化異常解析による肝癌抑制遺伝子候補探索. 日本人類遺伝学会第54回大会, 東京, 2009.9.26
2. 田中真二、藍原有弘、茂櫛薫、ヤーセン マー ムット、野口典夫、入江工、工藤篤、中村典明、井本逸勢、三木義男、稲澤譲治、田中博、

有井滋樹. 肝癌再発ネットワーク解析に基づく Aurora kinase B 分子標的治療の開発. 第 68 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.1

3. 新井恵吏、牛島抄織、後藤政広、尾島英知、小菅智男、細田文恵、柴田龍弘、近藤格、横井左奈、井本逸勢、稲澤譲治、廣橋説雄、金井弥栄. 肝細胞がんとその前がん状態である慢性肝炎・肝硬変症におけるゲノム網羅的 DNA メチル化プロファイル. 第 68 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.2
 4. 古田繭子、小崎健一、田中真二、有井滋樹、井本逸勢、稲澤譲治. 肝細胞癌において腫瘍特異的 DNA 過剰メチル化により発現抑制される癌抑制 microRNA. 第 68 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.2
 5. 松村聡、井本逸勢、小崎健一、有井滋樹、稲澤譲治. 肝細胞癌においてエピゲノムで制御されるがん抑制遺伝子の統合的アレイ解析. 第 68 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.2
- [平成 22 年度]
1. Furuta M, Kozaki K, Tanaka S, Arii S, Imoto I, Inazawa J. miR-124 and miR-203 are epigenetically silenced tumor-suppressive microRNAs in hepatocellular carcinoma. 101th annual meeting of American Association for Cancer Research, Washington, DC, USA, 2010.4.19
 2. 松村聡、井本逸勢、小崎健一、田中真二、有井滋樹、稲澤譲治. 肝細胞癌における CpG アイランドの過剰メチル化により発現抑制される新規がん抑制遺伝子の同定. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.23.
 3. 古田繭子、小崎健一、田中真二、有井滋樹、井本逸勢、稲澤譲治. Functional スクリーニングを用いた肝細胞癌抑制性 microRNA の同定. 第 69 回日本癌学会学術総会, 大阪, 2010.9.24.
 4. Furuta M, Kozaki KI, Tanaka S, Arii S, Imoto I, Inazawa J. Functional genomics-assisted approach identifies candidates for tumor-suppressive microRNAs in hepatocellular

carcinoma. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会, 神戸, 2010.12.8

田中 真二
[平成 20 年度]

1. Tanaka S, Aihara A, Yasen M, Mogushi K, Kudo A, Nakamura N, Ito K, Imoto I, Inazawa J, Miki Y, Mizushima H, Tanaka H, Arii S. Aurora kinase B is a novel target for treatment of hepatocellular carcinoma. 99th Annual Meeting of the American Association for Cancer Research (2008 年 4 月 15 日)
2. 田中真二、藍原有弘、Mahmut Yasen、平良 薫、工藤 篤、中村典明、伊東浩次、有井 滋樹. ワークショップ「癌に対する分子標的治療の最前線」肝細胞癌再発のオミックス解析による新規分子標的治療の開発. 第 108 回日本外科学会総会 (2008 年 5 月 16 日)
3. 田中真二、藍原有弘、野口典男、工藤 篤、中村典明、伊東浩次、有井滋樹. ワークショップ「再発腫瘍の外科治療および集学的治療方針-肝・胆・膵」再発肝細胞癌に対する治療戦略と新規分子標的の同定. 第 63 回日本消化器外科学会総会 (2008 年平成 20 年 7 月 16 日)
4. 田中真二、藍原有弘、有井滋樹. シンポジウム「肝癌の分子標的治療」肝細胞癌の再発規定分子解析に基づく新規分子標的の同定. 第 12 回日本肝臓学会大会 (2008 年 10 月 1 日)
5. 田中真二、藍原有弘、Mahmut Yasen、茂籾 薫、野口典男、工藤 篤、中村典明、伊東浩次、三木義男、稲澤譲治、田中 博、有井滋樹. シンポジウム「分子標的治療の最前線」肝細胞癌 基準外再発のオミックス解析に基づく新規分子標的治療の開発. 第 46 回日本癌治療学会総会 (2008 年 10 月 31 日)

[平成 21 年度]

1. Tanaka S, Mogushi K, Aihara A, Yasen M, Noguchi N, Kudo A, Nakamura N, Miki Y,

Inazawa J, Tanaka H, Arii S. Aurora kinase B pathway as a novel molecular target in invasive hepatocellular carcinoma. 100th Annual Meeting of the American Association for Cancer Research (2009年4月20日)

2. 田中真二、藍原有弘、Mahmut Yasen、野口典男、工藤 篤、黒川敏昭、中村典明、稲澤譲治、田中 博、有井滋樹. ワークショップ「固形癌の治療抵抗性克服に向けた新しい試み」肝細胞癌の遺伝子ネットワーク解析に基づいた分子標的治療の開発と mitotic catastrophe による抗癌剤抵抗性の克服. 第109回日本外科学会定期学術集会 (2009年4月2日)
3. 田中真二、藍原有弘、茂榎 薫、Mahmut Yasen、野口典男、工藤 篤、黒川敏昭、中村典明、田中 博、有井滋樹. ワークショップ「肝癌発生・進展の分子機構と臨床への還元」肝癌脈管侵襲の遺伝子プロファイル・ネットワーク解析を基盤とする分子標的治療への展開. 第45回日本肝臓学会総会 (2009年6月5日)
6. 田中真二、藍原有弘、Mahmut Yasen、野口典男、工藤 篤、黒川敏昭、中村典明、稲澤譲治、田中 博、有井滋樹. パネルディスカッション「消化器外科領域における分子生物学的知見の臨床応用」肝細胞癌の遺伝子ネットワーク解析に基づく新しい分子標的の同定と前臨床試験への展開. 第64回日本消化器外科学会総会 (2009年7月18日)
7. 田中真二、松村 聡、有井滋樹. パネルディスカッション「肝細胞癌の集学的治療の現状と近未来的治療」進行肝臓癌に対する集学的治療: neoadjuvant therapy と分子標的治療への展開. 第13回日本肝臓学会大会 (2009年10月15日)

[平成22年度]

1. Tanaka S, Mogushi K, Aihara A, Yasen M, Noguchi N, Kudo A, Nakamura N, Miki Y, Inazawa J, Tanaka H, Arii S. Gene expression signature of the non-cancerous liver tissue associated with the early recurrence of

hepatocellular carcinoma. 101st Annual Meeting of the American Association for Cancer Research (2010年4月19日)

2. 田中真二、藍原有弘、野口典男、入江 工、工藤 篤、中村典明、有井滋樹. パネルディスカッション「オンコロジストとして外科医に求められる基礎研究とは何か」外科臨床に基づいた難治性消化器癌の分子標的治療の開発. 第110回日本外科学会定期学術集会 (2010年4月8日)
3. 田中真二、村形綾乃、有井滋樹. シンポジウム「肝細胞癌の分子標的探索と臨床応用」外科臨床に基づく肝臓分子標的の解析と臨床展開. 第46回日本肝臓学会総会 (2010年5月28日)
4. 田中真二、田中真二、藍原有弘、伴 大輔、野口典男、入江 工、工藤 篤、中村典明、稲澤譲治、田中博、有井滋樹. シンポジウム「消化器癌転移のメカニズムに基づいた新たな治療標的分子の探索」臨床検体オミックス解析に基づく転移分子ネットワークの同定と分子標的治療への展開. 第65回日本消化器外科学会総会 (2010年7月15日)
5. 田中真二、中村典明、有井滋樹. シンポジウム「肝細胞癌治療のこれからの展開」肝細胞癌治療における外科治療の位置付けと方向性. 第14回日本肝臓学会大会 (2010年10月13日)
6. 田中真二、茂榎 薫、Mahmut Yasen、伴 大輔、野口典男、入江 工、工藤 篤、中村典明、稲澤 譲治、田中 博、有井 滋樹. パネルディスカッション「肝細胞がん治療アルゴリズムの再考: 薬剤療法の位置づけ」肝細胞癌治療における外科治療の位置付けと方向性. 第48回日本癌治療学会学術集会 (2010年10月29日)

H. 知的財産の出願・登録状況

(予定を含む。)

[平成 20 年度]

- 1) 特許取得
特になし。
- 2) 実用新案登録
特になし。
- 3) その他
特になし。

[平成 21 年度]

- 1) 特許取得
 1. 坂元亨宇、他 2 名。血中の CAP2 の測定方法、肝臓疾患の検出方法及び血中 CAP2 測定用検出キット。特願 2009-060966、2009。
 2. 発明の名称：マイクロ RNA の発現量の変化を指標とする肝細胞癌の検出方法および癌抑制剤。整理番号：P09-034。出願日：平成 21 年 11 月 2 日。出願人：国立大学法人東京医科歯科大学。発明者：稲澤 譲治、小崎 健一、井本 逸勢、古田 繭子、有井 滋樹
- 2) 実用新案登録
特になし。
- 3) その他
科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン 2009 年版。日本肝臓学会/編、金原出版株式会社、ISBN 978-4-307-20273-2 (有井滋樹・川崎誠治・高山忠利・國土典宏・田中真二 他)

[平成 22 年度]

- 1) 特許取得
【特許出願】
 1. 2010.3.3、「癌の検出方法および抑制方法」、稲澤譲治・小崎健一・井本逸勢・古田繭子・

有井滋樹、富士フィルム株式会社・国立大学法人東京医科歯科大学、特願 2010-046564 (P09-034)

【海外特許】

1. [米国]「核酸マイクロアレイの異常スポットを検出する方法」、金原秀行・吉田淳哉・氏原大・稲澤譲治・井本逸勢、国立大学法人東京医科歯科大学・富士写真フィルム株式会社、2010.5.26、12/787,953 特願 2009- 128162
2. [EP]「核酸マイクロアレイの異常スポットを検出する方法」、金原秀行・吉田淳哉・氏原大・稲澤譲治・井本逸勢、国立大学法人東京医科歯科大学・富士写真フィルム株式会社、2010.5.27、10164051.4 特願 2009-128162
3. [CN]「核酸マイクロアレイの異常スポットを検出する方法」、金原秀行・吉田淳哉・氏原大・稲澤譲治・井本逸勢、国立大学法人東京医科歯科大学・富士写真フィルム株式会社、2010.5.27、201010193364.8 特願 2009-128162

【特許取得】

1. 発明の名称：新規キメラ蛋白質およびそれをコードする遺伝子、並びに、これらの遺伝子と蛋白質を用いた白血病の判別手段、稲澤譲治、井本逸勢、他、特許第 4473870、出願年月日：平成 16 年 2 月 26 日、取得年月日：平成 22 年 3 月 12 日。
2. 坂元亨宇、他 2 名。血中の CAP2 の測定方法、肝臓疾患の検出方法及び血中 CAP2 測定用検出キット。(PCT 出願) PCT/JP2010/054184、2010
- 2) 実用新案登録
特になし。
- 3) その他
特になし。